

静岡県下水道防災計画
(別冊様式集)

平成29年 4月

静岡県下水道防災計画(別冊様式集) 目次

震災発生時(発生から5日以内)		
整理 番号	様 式 名	摘 要
1-1	管路の緊急調査表	緊急調査時
1-2	静岡県への第一報	緊急調査終了後
震災発生後(発生から1月以内)		
整理 番号	様 式 名	摘 要
2-1	支援活動可能体制の報告	緊急調査終了後
2-2	人孔目視調査記録表(一次調査用)	一次調査時
2-3	支援要請書	一次調査終了後 二次調査前
2-4	支援要請(了解)内容	一次調査終了後 二次調査前
2-5	被害状況報告書	二次調査時
2-6	本管用調査記録表(二次調査用)	二次調査時
2-7	人孔目視調査記録表(二次調査用)	二次調査時
災 害 復 旧 関 係		
整理 番号	様 式 名	摘 要
3-1	被災状況報告書(第 報)	緊急調査後(被災後 3 日以内)
3-2	災害報告書(国土交通大臣あて)	一次調査後(被災後 10 日以内) 二次調査後(被災後1ヶ月以内)
3-3	災害報告書(県知事あて)	一次調査後(被災後 10 日以内) 二次調査後(被災後1ヶ月以内)

管路の緊急調査表

調査日時		記録者	
処理区		処理分区	図面メッシュ
人孔番号		GPS E=	,N=
道路種別	国道・県道・市町村道・私道・その他()	管理者	
占用位置	緊急路等の重要路線・車道・歩道・その他()	写真No.	
調査項目	路面との段差	段差なし・段差あり(浮上約 cm、沈下約 cm)	
	周辺路面状況	異常なし・陥没・隆起・亀裂・噴砂・噴水・その他()	
	人孔蓋の状況	異常なし・破損・ずれ・その他()	
	車両通行の可否	可・否(人孔浮上、路面陥没のため車両通行困難)	
緊急措置及び 応急復旧工事の有無	無・有(安全柵設置、路面すり付け)		
被災状況、 緊急措置及び 応急復旧工事 状況写真	No.1(人孔浮上状況)		No.2(上流路線周辺路面状況)
	No.3(下流路線周辺路面状況)		No.4(蓋状況)
	No.5(安全柵設置状況)		No.6(路面すり付け状況)

静岡県への第一報

(〇〇土木・市・町→都市局生活排水課)

FAX 054-221-3586 E-Mail: gesui@pref.shizuoka.lg.jp

報告日時 年 月 日 時 分

(1) 処理場・ポンプ場への被害

	被害状況	機能に影響 (被害状況ありの場合)	被災内容 (機能に影響がある項目の頭に◎)
〇〇浄化センター	あり(%) なし 調査中	あり(%) なし 調査中	
□□ポンプ場	あり(%) なし 調査中	あり(%) なし 調査中	

(2) 管渠・マンホールの被害 (調査率 %)

被災状況	被災内容 (機能に影響がある箇所・項目の頭に◎)
あり(%) なし 調査中	

(3) その他特記事項

市町の下水道災害対策本部設置状況

・あり 対策本部設置時刻 _____ 日 _____ :

・なし

・被災状況等現時点で把握している事があれば記載してください。

発信者 _____

連絡先 (tel・携帯電話・無線)

(下水道の地震対策マニュアル 別冊・緊急対応マニュアル 2006年版) 参考

※H23.3.11 訓練において、様式提案があり今年度試行的に使用します。

支援活動可能体制の報告

縣市町名 _____

1 支援期間

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

2 支援要員

土木職 名

機械職 名

電気職 名

3 支援資器材

(1) 車両 台

(2) TVカメラ車

(3) その他資器材

・

・

・

「平成〇〇年度下水道災害時中部ブロック応援体制について（通知）」の「下水道提供可能資器材リスト」一覧表から変更がなければ、「変更なし」と報告してください。

人孔目視調査記録表 (一次調査用)

		自治体								調査会社		
調査日時	平成 年 月 日		記録者									
調査ブロック			図面メッシュ									
人孔番号	人孔深		m		GPS E=		, N=					
人孔種別	0号・1号・2号・小型Co・小型Rco・その他 () 組立・現場打ち											
道路種別	国道・県道・市道・私道・その他 ()											
占用位置	車道・歩道・その他 ()										写真No.	
人孔被害状況	路面との段差	段差無し・段差有り (浮上 約 cm、沈下 約 cm)										
	周辺路面状況	異常なし・陥没・隆起・亀裂・噴砂・噴水・その他 ()										
	ふた状況	異常なし・破損・ずれ・その他 ()										
	ふた受枠状況	異常なし・破損・ずれ・その他 ()										
	調整コンクリート	異常なし・破損・ずれ・その他 ()										
	斜壁	異常なし・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他 ()										
	直壁	異常なし・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他 ()										
	躯体	異常なし・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他 ()										
	インバート	異常なし・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他 ()										
	滞水状況	なし・あり (滞水深 cm)										
	土砂堆積状況	なし・あり (土砂堆積 cm)										
	悪臭の発生	なし・あり・住民からの苦情あり										
	下水の流出	なし・あり・住民からの苦情あり										
危険物の流入	なし・あり・住民からの苦情あり											
管口状況	管路番号											
	管種											
	管径 (mm)											
	位置	下流No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8			
	本管突込み	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明			
	本管脱出し	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明			
	破損	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明			
	浸入水	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明			
	簡易カメラ調査	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明	有・無・不明			
	写真No.											
	本復旧の必要性	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要			
	二次調査必要性	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要			
	応急工事	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要	要・不要			
復旧(布設替)の必要性	要・不要											
	2次調査の必要性											
応急工事の実施		要・不要										
備考・略図												

支援要請書

I 支援要請

1 市町⇒県

発信日時	平成 年 月 日 時	被災自治体名；
受信日時	平成 年 月 日 時	
受信日時	平成 年 月 日 時	静岡県交通基盤部都市局生活排水課 T E L 054-221-3067 F A X 054-221-3586
支援要請理由	地震・その他（ ）	
支援要請内容	別紙のとおり	
支援要請期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日	

2 県⇒下水道管路管理業協会中部支部静岡県部会

発信日時	平成 年 月 日 時	静岡県交通基盤部都市局生活排水課
受信日時	平成 年 月 日 時	下水道管路管理業協会静岡県部会 T E L 053-471-3161 F A X 053-471-9235

II 支援了解

1 下水道管路管理業協会中部支部静岡県部会⇒県

発信日時	平成 年 月 日 時	下水道管路管理業協会静岡県部会
受信日時	平成 年 月 日 時	静岡県交通基盤部都市局生活排水課
支援了解内容	別紙のとおり	

2 県⇒市町村

発信日時	平成 年 月 日 時	静岡県交通基盤部都市局生活排水課
受信日時	平成 年 月 日 時	
受信日時	平成 年 月 日 時	被災自治体名；

支援要請（了解）内容

I 支援要請団体名

公益社団法人 日本下水道管路管理業協会中部支部静岡県部会

II 人員

名

III 資材・器材・物資等

1	簡易トイレ	基	2	汚泥吸引車	台
3	高圧洗浄車	台	4	給水車	台
5	管内調査用カメラ	台	6	コンクリートカッタ	台
7	陶管カッター	台	8	空気呼吸器	台
9	酸素マスク	個	10	酸素ボンベ	本
11	複合型ガス探知器	台	12	酸素濃度計	台
*	その他				

IV 支援要請団体

- | | | | |
|---|---|---|-----------------|
| 1 | 日本下水道事業団 | 2 | 全国上下水道コンサルタント協会 |
| 3 | 日本下水道管路管理業協会 | 4 | 日本下水道施設業協会 |
| 5 | その他（ ） | | |

被害状況報告書

調査班

施設名						
発生場所	市・郡		町	地内・地先		
発生日時	平成	年	月	日	時	分
原因						
被害状況						
応急対策						
被害場所略図						

本管用調査記録表(二次調査用)

様式 2-6

スパンNo. _____

自治体コード			調査ブロックコード			調査会社コード			調査班コード			調査年月日			平成 年 月 日			下流人孔 No.										
上流人孔 No.			調査方向			調査方法			自走式テレビカメラ 管口TVカメラ 目視			メッシュ			番号			人孔種別										
メッシュ	番号		人孔種別	人孔深		管頂深	人孔蓋種別		管種	管径		管延長		メッシュ	番号		人孔種別	人孔深	管頂深	人孔蓋種別								
				m						mm		m						m	m									
人孔内点検																		人孔内点検										
継手部	継手数	管口	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	管口	管本数 [19本]					
	異状																							ソケット数 [箇所]				
	内容																								異状箇所数 [箇所]			
	距離(m)																									本管不良数 [本]		
	写真番号																									VTR番号 [巻] カウンター番号 開始 [] 終了 []		
本管部	継手数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	CDラベル名 [19本]						
	異状																								全体動画ファイル名 []			
	内容																									展開画面ファイル名 []		
	距離(m)																									敷設年度 []		
ソケット部	写真番号																									占用位置		
	取付番号																									1. 国道 2. 県道 3. 市町村道 4. 裏通り、歩道内、ガードレール内 5. その他		
	考察																									該当番号 []		

(下水道の地震対策マニュアル 別冊・緊急対応マニュアル2006年版)参考

異状内容 異状箇所	破損	円周クラック		縦クラック		継手ずれ		段差		パッキン不良		たるみ・蛇行		侵入水		鉄筋露出		ソケット不良		管口抜け出し		管口突き出し		滞水		その他		計		備考	
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B		C
継手部																															
本管部																															
ソケット部																															
計																															

様式 2-6

人孔目視調査記録表（二次調査用）

調査自治体		調査会社		調査班					
調査日時	平成 年 月 日			記録者					
調査ブロック				図面メッシュ					
人孔番号			人孔深	m	GPS E= , N=				
人孔種別	0号・1号・2号・小型Co・小型Rco・その他 () 組立・現場打ち								
道路種別	国道・県道・市道・私道・その他 ()								
占用位置	車道・歩道・その他 ()				写真No.				
人孔被害状況	路面との段差	段差無し・段差有り (浮上 約 cm、沈下 約 cm)							
	周辺路面状況	異常なし・陥没・隆起・亀裂・噴砂・噴水・その他 ()							
	ふた状況	異常なし・破損・ずれ・その他 ()							
	ふた受枠状況	異常なし・破損・ずれ・その他 ()							
	調整コンクリート	異常なし・破損・ずれ・その他 ()							
	斜壁	異常なし・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他 ()							
	直壁 1	異常なし・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他 ()							
	直壁 2	異常なし・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他 ()							
	直壁 3	異常なし・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他 ()							
	直壁 4	異常なし・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他 ()							
	躯体	異常なし・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他 ()							
	インバート	異常なし・クラック・破損・ずれ・浸入水・その他 ()							
	滞水状況	なし・あり (滞水深 cm)							
	土砂堆積状況	なし・あり (土砂堆積 cm)							
悪臭の発生	なし・あり・住民からの苦情あり								
下水の流出	なし・あり・住民からの苦情あり								
危険物の流入	なし・あり・住民からの苦情あり								
管口状況	管路番号								
	管種								
	管径 (mm)								
	位置	下流No. 1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8
	本管突込み								
	本管拔出し								
	破損								
	浸入水								
	簡易カメラ調査								
	写真No.								
本復旧の必要性									
総合判定									
復旧(布設替)の必要性	要・不要								
備考・略図									

被災状況報告書(第 報)

都道府県・市名: _____

被災日時: _____

担当者氏名(TEL): _____

異常要因: _____

施設名	所在地	管理者	被災概要等	応急復旧状況等	被災金額(千円)	備考
						図面添付: 有・無 写真添付: 有・無 参考資料: 有・無
						図面添付: 有・無 写真添付: 有・無 参考資料: 有・無
						図面添付: 有・無 写真添付: 有・無 参考資料: 有・無
						図面添付: 有・無 写真添付: 有・無 参考資料: 有・無
						図面添付: 有・無 写真添付: 有・無 参考資料: 有・無
						図面添付: 有・無 写真添付: 有・無 参考資料: 有・無

(下水道事業の手引き 平成28年版)P816参照

様式 3-1

様式第1（第4条関係）

番 号

第1表

年 月 日

国土交通大臣 氏 名 あて

都道府県知事 氏 名

災 害 報 告 書

年 月 日から 月 日までの（異常気象名）により公共土木施設に下記のと通りの災害が発生したので、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法施行令第5条の規定により報告します。

記

（総括表）

（金額の単位：千円）

区分	前回までの報告分						今回の報告分		年間の合計	
	自月日：至月日		自月日：至月日		自月日：至月日		自月日：至月日			
	異常気象名		異常気象名		異常気象名		異常気象名			
	気象コード		気象コード		気象コード		気象コード			
	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額		
都道府県工事	河川									
	海岸（港湾に係るもの）									
	海岸（その他）									
	砂防設備									
	地すべり防止施設									
	急傾斜地崩壊防止施設									
	道路									
	橋梁									
	港湾									
	下水道									
	公園									
計										
市町村工事	河川									
	海岸（港湾に係るもの）									
	海岸（その他）									
	砂防設備									
	地すべり防止施設									
	急傾斜地崩壊防止施設									
	道路									
	橋梁									
	港湾									
	下水道									
	公園									
計										
計	河川									
	海岸（港湾に係るもの）									
	海岸（その他）									
	砂防設備									
	地すべり防止施設									
	急傾斜地崩壊防止施設									
	道路									
	橋梁									
	港湾									
	下水道									
	公園									
計										

(市町村別内訳表)

市町村名	前回までの報告分						今回の報告分		年間の合計	
	自月日：至月日		自月日：至月日		自月日：至月日		自月日：至月日			
	異常気象名		異常気象名		異常気象名		異常気象名			
	気象コード		気象コード		気象コード		気象コード			
	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額		
計										

(災害原因)

主な被害 市町村						
連続雨量	月 日 時～ 月 日 時	ミリメートル	月 日 時～ 月 日 時	ミリメートル	月 日 時～ 月 日 時	ミリメートル
最大日雨量	月 日 時～ 月 日 時	ミリメートル/日	月 日 時～ 月 日 時	ミリメートル/日	月 日 時～ 月 日 時	ミリメートル/日
最大時間雨量	月 日 時～ 月 日 時	ミリメートル/時	月 日 時～ 月 日 時	ミリメートル/時	月 日 時～ 月 日 時	ミリメートル/時
最大平均風速	時 分～ 月 日 時 分	ミリメートル/秒	時 分～ 月 日 時 分	ミリメートル/秒	時 分～ 月 日 時 分	ミリメートル/秒
最大潮位	月 日 時 分	メートル	月 日 時 分	メートル	月 日 時 分	メートル
最大波高	月 日 時 分	メートル	月 日 時 分	メートル	月 日 時 分	メートル
その他						

第2表

番 号

年 月 日

都道府県知事 氏 名 あて

市町村長 氏 名

災 害 報 告 書

年 月 日から 月 日までの（異常気象名）により公共土木施設に下記のと通りの災害が発生したので、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法施行令第5条の規定により報告します。

記

（金額の単位：千円）

区分	前回までの報告分						今回の報告分		年間の合計	
	自月日：至月日		自月日：至月日		自月日：至月日		自月日：至月日			
	異常気象名		異常気象名		異常気象名		異常気象名			
	気象コード		気象コード		気象コード		気象コード			
	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額		
河川										
海岸（港湾に係るもの）										
海岸（その他）										
砂防設備										
地すべり防止施設										
急傾斜地崩壊防止施設										
道路										
橋梁										
港湾										
下水道										
公園										
計										

（下水道事業の手引き 平成28年版 P819）参照